

水田からの濁水流出防止で 環境にやさしい農業を進めましょう

水田は「大きな水がめ」と言われるように、美しい自然を守っています。
しかし、代かき・田植え時に適正管理がされないと、濁水が川に流出し、
水生生物の生息に悪影響を及ぼすことにつながります。
代かき・田植え時期の管理ポイントを守りましょう。

濁水流出防止のための管理ポイント

- 1 畦畔からの漏水を防ぎましょう。
 - ・ モグラやザリガニ等による漏水箇所を補修しましょう。
 - ・ あぜ塗り、あぜシートの設置等をしてしましょう。
- 2 代かき・田植え時に排水口から漏水しないようにしましょう。
 - ・ 止水板のすき間から漏水しないよう、止水板を高めに設置したり、肥料の空袋等を利用しましょう。
- 3 浅水で代かきをして、田植え前の落水は控えましょう。
 - ・ 浅水で代かきしましょう（田植えまでに自然減水する程度の水位）。
 - ・ 代かきは丁寧にして、畦畔からあふれないようにしましょう。
- 4 除草剤散布後の数日間をしっかり止水しましょう。
 - ・ 農薬散布後の止水期間をしっかりと守り、水田外への流出による環境への影響をおさえましょう。

広島県農林水産局

農業技術課（電話 082-513-3564）

農業基盤課（電話 082-513-3650）